2 専門教育科目

1 文教育学部

文教育学部履修規程 (P.222) により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位 (人間社会科学科が開設する総合人間発達科学主プログラムを選択する場合には、135単位) を修得してください。各学科プログラム等に関することは、文教育学部履修規程別表第2~14を参照してください。

別表第1-1(第6条関係)																						
利		ų.	必修及	修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位										
科目区分		=	コア科	目		専門教育科目(必修プログラム)				コ	専	学	他	他	全	教	教	必修以	卒業に			
分	文理	基	情	外	ス	主	強	副	学		.,	部	学 科	学	学	職	職	以外	必			
学	文理融合リベ	礎			ポ	プ	化プ	プ	際プ	ア	攻	共	の	部	共	共	関	D	必要な履修単位数			
A	リベラル			国	 '''	ログ	П	ログ	П	科	科	通	専	の	通	通	すっ	選択プ	修修			
	ルア	講			健	ラ	グラ	ラ	グラ	''	''	科	攻 科	科	科	科	る科	ログラ	単位			
別	¹ / ₂	義	報	語	康	ム	Á	ム	Á	目	目	目	目	目	目	目	目	フム	数			
人 文 科 学 科		18		20	2	44		20						20					124			
言 語 文 化 学 科		18		20	2	44		20						20					124			
人間社会科学科		18		12	2	48		20						24					124			
グローバル文化学環		18		20	2	44		20						20					124			

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については20単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。
 - 11 グローバル文化学環履修者は、所属学科によらず、グローバル文化学環の欄に記載される科目・単位を履修すること。また、必修プログラムとして、グローバル文化学主プログラムと所属学科の副プログラムを履修すること。

別表第1-2(第6条関係)																
₹l		Ú	必修及	び選択	7必修	の科目・単位	自由に選択して履修する科目・単位									
科目区分		=	コア科	目		専門教育科目(必修プログラム)	コ	専	学	他	他	全	教	教	必修	卒業に
分	文册	基	情	外	ス	主			部	学到	学	学	職	職	必修以外	必
学	文理融合	礎			ポ	プ	ア	攻	共	科の	部	共	共	関	の選	必要な履修単位数
	リベ	192		玉	1	П	۵,	١.,	通	専	Ø)	通	通	す	の選択プ	履
科	ラルア	講			ツ	グ	科	科	科	攻	科	科	科	る	ノログ	16
別	1 ツ	عد	+ 17	are	健	ラ			''	科				科	ラ	黛
	-	義	報	語	康	۵	目	目	目	目	目	目	目	目	4	致
人間 社会科学科		18		12	2	103					0					135
総合人間発達科学プログラム		10		12	-	100					J					100

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択をすること。
 - 5 教職に関する科目(教職概論、教職実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 6 外国人留学生特別科目 (外国人留学生対象) の単位については 20 単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。

別表第1	-3(第6条関係)																	
	私	の科目	・単化	立	自由に選択して履修する科目・単位									卒				
	科目区分		=	ア科	目		専	関	コ	専	学	他	他	全	教	教	必修	卒業に必要な履修単位数
	分	文理	基	情	外	ス					部	学 科	学	学	職	職	以外	- 坐
学		文理融合リ	礎			ポ	攻	連	ア	攻	共	の	部	共	共	関	の選択	女 な
· 科		~			国		科	科	科	科	通	専	の	通	通	す	プ	履修
		ラルア	講			健	11	71	11	1	科	攻 科	科	科	科	る 科	ログ	単位
別		ッ	義	報	語	康	目	目	目	目	目	I	目	目	目	目	ラム	数
芸術・	表現行動学科		18		12	2	6	4					28					124

- **備考** 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択をすること。
 - 5 教職に関する科目(教職概論、教職実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 6 外国人留学生特別科目 (外国人留学生対象) の単位については 20 単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。

2 理学部

理学部履修規程(P.237)により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、理学部履修規程別表第 $2\sim11$ を参照してください。

別表領	第1(第	55余	発関係)																			
				科		ų.	修及	び選択	7必修	の科目	・単作	立		I	卒							
				科目区分		コア科目					育科目(4	必修プロ	グラム)	コー専		他	関	他	全	教	必修	卒 業 に
学		\		分	文理融合リベ	基礎	情	外国	スポー	主プロ	強化プロ	副プロ	学際プロ	ア	攻	学科の専	連	学部の	学共通	職に関す	以外の選択	1必要な履修単位数
科					ラルア	講		124	ツ健	グラ	グ	グラ	グ	科	科	攻	科	ひ	型	る	プログ	修単
別					í ツ	義	報	語	康	ラ ム	ラム	ラ ム	ラム	目	目	科 目	目	目	目	科目	ラム	位 数
数		学		科			30			60		20					1	4				124
物	理		学	科			30			60		20					1	4				124
化		学		科			30			60		20					1	4				124
生	物		学	科			30			60		20					1	4				124
情	報	科	学	科			30			60		20			124							

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また外国語の履修方法は別に定める。
 - 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、6単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については16単位までをコア科目として取り扱う。

3 生活科学部

生活科学部履修規程 (P.256) により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位を修得してください(ただし、食物栄養学科については、138単位を修得してください)。各学科プログラム等に関することは、生活科学部履修規程別表第2~14を参照してください。

別表第1-1 (第5条関係)																		
₩		必修及	の科目	・単化	立		自由に選択して履修する科目・単位							単位		卒		
科目区分		コア科	目		専門教育	育科目(4	必修プロ	グラム)	コ	専	学	自	他	全	教	教	必修	卒業に
分	文理融	表 情	外	ス	主	強	副	学			部		学	学	職	職に	必修以外	楽
学		林		ポ	プ	化プ	プ	際プ	ア	攻	共	曲	部	共	共	関	(/)	をなり
科	ベラ		国		ログ	D	ロゲ	п	科	科	通	科	の	通	通	す	選択プ	必要な履修単位数
	ルア			健	ラ	グラ	/ ラ	グラ	7-1	771	科	71	科	科	科	る科	ログ	単一位
別	ツー郭	美 報	語	康	4	4	4	4	目	目	目	目	目	目	目	目	ラム	数
人 間・環 境 科 学 科	,	34			60		20						10					124
人 間 生 活 学 科		34			42		20						28					124

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語は、一の外国語について12単位を必修とする。
 - 3 スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
 - 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
 - 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
 - 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
 - 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、人間・環境科学科は10単位までを、 人間生活学科は14単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については18単位までをコア科目として取り扱う。
 - 11 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第9のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。
 - 12 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。

別表第1-2(第5条関係)																
₹I.	・単位	立		自由に選択して履修する科目・単位								卒				
	科 目 区分 ネ 基 情 外 ス								学	自	他	全	教	教	必修以	業 <i>に</i>
<u> </u>	文理融	情	外	ス		部			部		学	学	職	職	以外	业
学	融合。			ポ	攻	共	ア	攻	共	曲	部	共	共	関	の選択	卒業に必要な履修単位数
科	ベラ		国		科	通	科	科	通	科	の	通	通	すっ	プ	履修
	ルアー講			健	11	科	11	71	科	1	科	科	科	る	ログ	単位
別	" 美	報	語	康	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	ラム	数
食物栄養学科	·	30			101	4					3					138

- 備考 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
 - 2 外国語は、一の外国語について12単位を必修とする。
 - 3 スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
 - 4 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
 - 5 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、14単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
 - 6 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については18単位までをコア科目として取り扱う。
 - 7 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第9のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。
 - 8 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。